

数学 A シラバス

教科	科目	単位数	学年	クラス
数学	数学 A	2 単位	1 学年	普通科
使用教科書	最新 数学 A(数研出版)		副教材等	パラレルノート(数研出版)

1 科目の目標と評価の観点

目標	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質の論理に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価規準

学期	月	学習内容 章名(配当時間) 学習のねらい	学習内容 節名(配当時間) 項目名(配当時間)	観点別評価規準 [関]: 関心・意欲・態度 [考]: 数学的な見方や考え方 [技]: 数学的な技能 [知]: 知識・理解	教科書 該当箇所	考查範囲	
1 学期	4 月	第 1 章 場合の数と確率 [32] 場合の数を求めるときの基本 的な考え方や確率 についての理解 を深め，それら を事象の考察に 活用できるように する。	第 1 節 場合の数 [15]				
			1. 集合 [1]	集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。[考] [技]	例 1 練習 1		
				日常語の「かつ」「または」「…でない」との関連を認識しようとする。[関]	p.6,7		
				共通部分，和集合，補集合を求めることができる。[技]	例 2,3 練習 2,3		
			2. 集合の要素の個数 [2]	ベン図を利用して集合を図示することで，要素の個数を考察することができる。[考]	p.8~11		
	要素を書き並べて表して，集合の要素の個数を求めることができる。[技]			例 4 練習 4			
	和集合の要素の個数の公式を用いることができる。[技]			例題 1 練習 5			
	補集合の要素の個数の公式を用いることができる。[技]			例題 2 練習 6			
	具体的な日常事象に対して集合を考えることで，人数などを求めることができる。[技]			例題 3 練習 7			
	5 月		3. 樹形図，和の法則 [1]	場合の数を，もれなく重複なく数える手段として，樹形図が有用であることを理解している。[知]	p.12		
樹形図や和の法則を用いて，場合の数を求めることができる。[技]		例題 4 練習 8,9					
4. 積の法則 [1]		積の法則を用いて，場合の数を求めることができる。[技]		例 5 例題 5 練習 10~12			
	正の約数の個数を数えることに興味をもつ。[関]	例題 5 練習 12					

2 学 期	6 月 7 月 9 月 10		5. 順列 [2]	積の法則から順列の公式を考察することができる。[考]	p.16	中 間 考 査
				順列の用語, 記号, 公式を理解し, 利用できる。[知]	例 6 練習 13,14	
				具体的な問題を通じて, どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。[考] [技]	例題 6~8 練習 15~17	
			6. 円順列と重複順列 [2]	順列, 円順列, 重複順列の違いに興味・関心をもつ。[関]	p.20,21	
				円順列の用語, 公式を理解し, 利用できる。[知]	例 7,8 練習 18	
				重複順列の用語, 公式を理解し, 利用できる。[知]	例題 9 練習 19	
			7. 組合せ [4]	順列の総数をもとにして, 組合せの総数を考察することができる。[考]	p.22	
				組合せの用語, 記号, 公式を理解し, 利用できる。[知]	例 9~11 練習 20,21	
				組合せの考え方を利用して, 図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。[関]	例 12 例題 10~13 練習 22~26	
				組分けの方法に興味・関心を示し, 問題を処理できる。[関] [技]	例題 12 練習 24	
				同じものを含む順列の総数を求めることができる。[技]	例 12 例題 13 練習 25,26	
				練習問題 [2]		
				第 2 節 確率 [15]		
			8. 確率の意味 [1]	身近な試行によって起こる事象と関連づけながら, 実験などを通じて確率に興味・関心をもつ。[関]	p.30	
				試行の結果を事象としてとらえ, 事象を既知の集合と結びつけて考えることができる。[考]	例 13 練習 27	
	事象を集合で表すことができる。[技]	例 13 練習 27				
	確率の意味, 試行や事象の定義を理解している。[知]	p.30,31				
9. 確率の計算 [1]	不確定な事象を, 同様に確からしいという概念をもとに数量的にとらえることができる。[考]	例 14 例題 14				
	確率の定義に基づき, 事象の確率を求めることができる。[技] [知]	例 14 例題 14,15 練習 28~31				
10. 確率の基本性質 [1]	和事象, 積事象, 排反, 空事象, 確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとする。[関]	p.34,35				
11. 和事象の確率 [2]	確率の加法定理を用いて, 和事象の確率を求めることができる。[技]	例 16 例題 16 練習 33,34				
	一般の和事象の確率を集合と関連づけて考察しようとする。[関]	p.37				
12. 余事象の確率 [2]	補集合をもとに, 余事象を考察することができる。[考]	例 17 練習 36				
	余事象の確率の公式を利用して, 確率を求めることができる。[技]	例題 17,18 練習 35,37				
13. 独立な試行の確率 [1]	独立な試行の意味を理解している。[知]	例 18 練習 38				
	独立な試行の確率を, 公式を用いて求めることができる。[技]	例題 19 練習 39				
14. 反復試行の確率 [2]	反復試行の確率を, 具体的な例から直観的に考えることができる。[考]	p.42				
	反復試行の確率を, 公式を用いて求めることができる。[技]	例 19 例題 20 練習 40,41				
15. 条件付き確率 [3]	条件付き確率の定義, 意味を理解している。[知]	p.44				
	確率の乗法定理を用いて, 確率を求めることができる。[技]	例題 21 練習 43				

中
間
考
査

期
末
考
査

月			くじ引きの確率が、引く順番に関係なく等しくなることに興味をもつ。〔関〕	例題 22	
			やや複雑な事象の確率を、加法定理や乗法定理などを適切に用いて、求めることができる。〔考〕〔技〕	例題 23 練習 45	
		練習問題〔2〕			
		問題〔1〕			
		課題学習 1〔1〕	第 1 章で学んだ内容に関する課題について主体的に学習し、数学のよさを認識する。〔関〕〔考〕	p.139	
11 月	第 2 章 図形の性質 〔32〕 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第 1 節 平面図形〔24〕			
		1. 角の二等分線と比〔2〕	平行線の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。〔技〕	p.52 練習 1	
			線分の内分と外分を理解し、内分する点と外分する点を図示することができる。〔技〕〔知〕	例 1 練習 2	
			証明の際に、適当な補助線を引いて考察することができる。〔考〕	p.54	
			三角形の内角・外角の二等分線と比の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。〔技〕	例 2 練習 3,4	
		2. 三角形の外心、内心、重心〔3〕	三角形の 3 辺の垂直二等分線が 1 点で交わることの証明方法に関心をもつ。〔関〕	p.56	
			外心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。〔技〕	練習 5	
			三角形の 3 つの角の二等分線が 1 点で交わることの証明方法に関心をもつ。〔関〕	p.57	
			内心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。〔技〕	例題 1 練習 6,7	
			三角形の 3 本の中線が 1 点で交わることの証明方法に関心をもつ。〔関〕	p.59	
			重心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。〔知〕	例題 2 練習 8	
		3. 三角形の辺の比の定理〔2〕	三角形の面積と線分の比の性質を用いて、面積比を求めることができる。〔技〕	練習 9	
			チェバの定理の証明方法に関心をもつ。〔関〕	p.62	
			チェバの定理を用いて、線分比を求めることができる。〔技〕	練習 10	
			メネラウスの定理の証明方法に関心をもつ。〔関〕	p.63	
			メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。〔技〕	練習 11	
12 月			研究 三角形の辺と角〔1〕	三角形や辺と角の大小関係や、三角形の存在条件を理解している。〔考〕	p.64,65
				三角形の辺と角の大小関係という、自明に見える事実でも、論理的に考察しようとする。〔関〕	p.65
			練習問題〔2〕		
			4. 円周角の定理〔1〕	中学校で学んだ円周角の定理やその逆について理解している。〔知〕	p.68,69
			円周角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。〔技〕	例 3 練習 12,13	
			円周角の定理の逆を用いて、4 点が同一円周上にあることを調べることができる。〔技〕	練習 14	
		5. 円に内接する四角形〔2〕	三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を考察しようとする。〔関〕〔考〕	p.70,71	
			円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。〔技〕	練習 15	
			四角形が円に内接するかどうかを判定できる。〔技〕	練習 16	
3 学期	1 月	6. 円と接線〔1〕	円と直線の位置関係に 3 つの場合があることを理解している。〔考〕	p.72	
			円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。〔技〕	例題 3 練習 17	

中間
考查

期末
考查

2月	7. 接線と弦の作る角 [2]	接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。[技]	例題 4 練習 18
	8. 方べきの定理 [2]	方べきの定理は、円周角の定理や円に内接する四角形の性質などを用いて証明されることに興味をもつ。[関] [考]	p.76,77
		方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができる。[技]	練習 19,20
	9. 2つの円 [1]	2円の位置関係に5つの場合があることを理解している。[知]	p.78
		2円の位置関係を、動的な面から観察することができる。[考]	p.78
		2円の共通接線について理解し、その長さを求めることができる。[技] [知]	例題 5 練習 21,22
	10. 作図 [2]	垂線を引く、垂直二等分線を引く、角の二等分線を引く、平行線を引くなどの基本的な作図を行うことができる。[技] [知]	p.80~82
		作図の各過程において、平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。[考] [知]	p.80~83
	11. 線分の長さで作図 [1]	平行線の性質を用いて、長さが有理数である線分を作図することができる。[技]	例 5 練習 29
		\sqrt{a} の長さをもつ線分の作図の方法を文章で表現し、得られた図形が確かに条件を満たすことを証明することができる。[技]	例題 6 練習 30
	練習問題 [2]		
第2節 空間図形 [6]			
12. 空間における直線と平面 [2]	空間における2直線の位置関係に3つの場合があることや、2直線のなす角を理解し、それらの問題を処理できる。[技] [知]	例題 7 練習 31,32	
	直線と平面の位置関係に3つの場合があることを理解している。また、ある直線 l が平面上の2直線に垂直のとき、直線 l と平面が垂直であることを理解し、証明に応用できる。[技] [知]	p.90 例 6	
	2平面の位置関係に2つの場合があることを理解している。[知]	p.91	
13. 多面体 [3]	5種類の正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができる。[知]	p.92,93 練習 35	
	どんな多面体にもオイラーの多面体定理が成り立つことに興味をもち、簡単な多面体で確かめようとする。[関]	練習 36	
	正多面体どうしの関係を利用して、正多面体の体積を求めることができる。[技]	例題 8 練習 37	
	立体の切断面を考えることで、空間の問題を、平面の問題に帰着して処理することができる。[考] [技]	例題 9 練習 38	
	正多面体が5種類である理由に関心をもち、その理由を調べようとする。[関]	p.96 研究	
練習問題 [1]			
問題 [1]			
課題学習 2 [1]	第2章で学んだ内容に関する課題について主体的に学習し、数学のよさを認識する。[関] [考]	p.140	

学年末
考查